

科目名	理学療法概論	担当教員	小林巧 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------	------	-------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	1年次	前期	1単位	講義

科目概要	1年次に理学療法を概観し、理学療法の定義、歴史、評価－治療体系、対象、主な背景理論、主な治療手段、理学療法教育の変遷などについて学習する。特に、綿密な評価を通じて抽出された問題点に対する理学療法の適応とその実際の方法を理解する。さらに医学的リハビリテーションにおける位置づけ、さらには治療（身体医学）としての理学療法の役割について理解する。
学習目標	① 理学療法の定義、歴史、理論を理解する。 ② 理学療法士に求められる適性と資質について理解する。 ③ 理学療法の対象と業務について理解する。 ④ 理学療法の教育ならびに学術活動について理解する。 ⑤ 理学療法の現在の課題と展望について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	ガイダンス 理学療法の定義と業務、歴史	理学療法の定義を説明することができる。 理学療法の歴史と成り立ちを理解する。	
2	理学療法の関係法規	理学療法士及び作業療法士法とその関連法案	理学療法士及び作業療法士法およびその関連法案について理解する。	
3	理学療法の対象と業務	理学療法の対象、評価、治療手段 理学療法士の業務、評価と治療経過、治療	理学療法の対象と業務について理解する。	
4	理学療法士の職能と学術活動	理学療法士の職能と学術活動	理学療法士が社会に対して果たすべき役割と研究活動の必要性について理解する。	
5	理学療法の実際①	神経系理学療法の適応と実際、展望と課題	神経系理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
6	理学療法の実際②	内部系理学療法の適応と実際、展望と課題	内部系理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
7	理学療法の実際③	EBM と理学療法研究の展望と課題	EBM と理学療法研究の実際の進め方、将来展望について理解する。	
8	理学療法の実際④	運動器理学療法の適応と実際、展望と課題	運動器理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
評価方法		平常点（20%）、筆記試験（80%）		
教科図書		特に指定しない。毎回資料を配布する。		
参考図書		講義の中で、適宜紹介する。		
学習の準備		指定した教科書、もしくは事前に配布した資料について予習をしておくこと		
オフィスアワー		在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				